

再 評 価 調 査 書

I 事業概要					
事業名	交通安全対策事業（歩道及び自転車歩行者道設置事業）				
地区名	主要地方道 <small>とよはしのりもと</small> 豊橋乗本線				
事業箇所	<small>とよはししあさひほんまち</small> 豊橋市旭本町				
事業のあらまし	本路線は、 <small>とよはしし</small> 豊橋市中心街から <small>とよかわし</small> 豊川市を経由し、 <small>しんしろし</small> 新城市へ抜ける幹線道路である。事業箇所は、豊橋市市街地に近く交通量が多い。しかし、右折帯のない交差点が連続しているため、朝晩の集中時には、渋滞が生じている。この渋滞を避けるため、生活道路を抜ける車両が多く、このような交通に起因する交通死亡事故も発生している。これらの生活道路は小学校の通学路として利用されている。そのため、本線の車道幅員を確保し、右折帯を設置し、渋滞の解消を図ることで安全確保を図るものである。				
事業目標	【達成（主要）目標】 車両による渋滞の解消 【副次目標】 （必要に応じて記載する）				
計画変更の推移		事前評価時 (2018年度)	再評価時 (2023年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2018年度～2022年度	2018年度～2026年度	用地取得難航による事業の長期化	
	事業費（億円）	2.0	2.0	-	
	経費内訳	工事費	1.0	1.0	-
		用補費	0.9	0.9	-
その他		0.1	0.1	-	
事業内容	歩道設置 L=300m	歩道設置 L=300m	事業期間の変更		
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	【事前評価時の状況】 当該路線は、豊橋市と新城市を結ぶ幹線道路であるが、幅員が狭く右折帯がないため渋滞が発生しており、渋滞の解消が必要 【再評価時の状況】 現状においても、幅員が狭く右折帯がないため渋滞が発生しており、渋滞の解消が必要 【変動要因の分析】 変動要因なし			
	判定	B	A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。 ※事業着手時と比較することが適当ではないと判断される場合は、「事業着手時」を「前回評価時」に置き換えることができる。		

②事業の進捗状況及び見込み		<p>【理由】 安全な通行空間の確保のため、事業の必要性がある。</p>																																																																																				
	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2018~2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>2026</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工事区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">/</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td>←→</td> <td></td> <td></td> <td>←→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>当初計画</td> <td>2.0</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">/</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0.5</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">/</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td>0.5</td> <td>0.1</td> <td>0.9</td> <td>0.6</td> <td>2.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>達成率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.30</td> <td>0.15</td> <td>50%</td> <td>0.30</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>2.0</td> <td>0.5</td> <td>25%</td> <td>2.0</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td> 工事費</td> <td>1.0</td> <td>0.4</td> <td>40%</td> <td>1.0</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td> 用補費</td> <td>0.9</td> <td>0.0</td> <td>0%</td> <td>0.9</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>100%</td> <td>0.1</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】 施行済みの150mについて供用済。</p>			2018~2023	2024	2025	2026	合計	工事区分	調査・設計	←→				/	用地補償			←→		工事	←→			←→	事業費(億円)	当初計画	2.0	/			2.0	実績	0.5	/			0.5	今回計画	0.5	0.1	0.9	0.6	2.0		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】	延長(km)	0.30	0.15	50%	0.30	50%	事業費(億円)	2.0	0.5	25%	2.0	25%	工事費	1.0	0.4	40%	1.0	40%	用補費	0.9	0.0	0%	0.9	0%	その他	0.1	0.1	100%	0.1	100%
			2018~2023	2024	2025	2026	合計																																																																															
	工事区分	調査・設計	←→				/																																																																															
		用地補償			←→																																																																																	
		工事	←→			←→																																																																																
	事業費(億円)	当初計画	2.0	/			2.0																																																																															
		実績	0.5	/			0.5																																																																															
		今回計画	0.5	0.1	0.9	0.6	2.0																																																																															
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																	
計画 【①】		実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】																																																																																	
延長(km)	0.30	0.15	50%	0.30	50%																																																																																	
事業費(億円)	2.0	0.5	25%	2.0	25%																																																																																	
工事費	1.0	0.4	40%	1.0	40%																																																																																	
用補費	0.9	0.0	0%	0.9	0%																																																																																	
その他	0.1	0.1	100%	0.1	100%																																																																																	
2) 未着手又は長期化の理由	用地交渉に時間を要したため、完了年度を2026年度までに延伸する。																																																																																					
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】 地元協力を得られており、今後の阻害要因なし。</p> <p>【今後の見込み】 用地取得を進め、2026年度には完了する見込みである。</p>																																																																																					
判定	<p>B</p> <p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。 B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける） ・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○ ．これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p> <p>【理由】 今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</p>																																																																																					

Ⅲ 対応方針		
継続	中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。 継続：上記以外のもの。	
Ⅳ 事後評価実施の有無と主な評価内容		
■対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 - 【主な評価内容】 事業実施前後の交通状況の変化		